

ピンクリボンNEWS japan

2014年
秋号
Vol.3 No3

発行人 認定NPO法人 J.POSH

編集 ピンクリボンNEWSjapan 編集委員会

発行所 J.POSH事務局〒538-0043 大阪市鶴見区今津南2丁目6番3号 TEL.06-6962-5071

J.POSH
日本乳がんピンクリボン運動®

TOPICS

拡大する休日受診

J.M.S プログラム

『日曜日にマンモグラフィー検査を受けましょう』。認定NPO法人J. POSHが2009年から始めた「ジャパン・マンモグラフィー・サンデー(J. M. S)」が拡大しています。J. M. Sは「仕事や子育てなどの理由で平日に乳がん検診を受けるのは難しい」という女性の皆様に、休日に検査を受けて頂くとう始めた運動です。主旨を理解しご協力頂いている全国の医療機関は確実に増えています。

毎年10月の第3日曜日をJ. M. Sの日に定め、全国で実施していますが、初めて実施された2009年の賛同医療機関は218機関でした。2010年は315、2011年は318、2012年は340、そして昨2013年は352機関と賛同の輪は広がっており、2014年度(10月19日実施)は更に拡大が見込まれます。

J. POSHは昨年10月20日、全国の実施医療機関のJ. M. S会場で受診者アンケートを行い、同時に賛同医療機関にもアンケートを実施しました。(医療機関:352、受診者回答者:4,052人)。

一受診理由トップは「日曜日だから」

主な質問と回答は以下の通り(複数回答)

Q:今回受診された理由は?

A:「日曜日に受診できたので」が最多。次いで「予防のため」、「無料クーポン受給」、「不安があるので」、「市民検診」、「家族の勧め」など。仕事が休みの日曜だからこそ受診できた、という実態が浮かぶ。

Q:受診頻度は?

A:「始めて」が最多で1,249人。次いで「毎年」、「2年に1度」、「数年前」などとなっていて、J. M. Sプログラムがきっかけで初めて受診した人が多かった。

Q:年代は?

A:40代(40-49)が1,183人と最も多く、次いで50代が854人、30代が780人、60代が575人など。

Q:仕事は?

A:「就業者」が2,767人と多く、「専業主婦」が958人など。働いている女性たちの、休日受診に対するニーズの高さがうかがえる。

受診者の声は「平日は仕事で来れず日曜検診は有難い」、「J. M. Sがあると毎年忘れずに受診できる」、「家族や友人にも受診を勧めたい」など。賛同医療機関の声は「働く世代への地域貢献ができた」、「仕事や子育てで多忙である、という理由で今まで受診していない方々が初めて検診を受け、その大切さを知って頂けた」など。

J. POSHは「休日受診が出来るのなら検診を受けたい」という皆様に、世界的な乳がん啓発月間である10月の第3日曜日をJ. M. Sと位置付けて活動を続けてまいります。



J.M.Sプログラム2014ポスター

目次

TOPICS「拡大する休日受診」	1
リレーコラム「乳がんTure-Zure」	2
オフィシャルサポーター様のご活動	3
J.POSHピンクリボン温泉パートナー一覧	4~5
個人サポーター様からのお便り	6
LMG/BCNのご紹介	7
「家族で湯ったり」キャンペーンについて	8
新事務局長からのご挨拶	8
PRN秋号あとがき	8

乳がんTure-Zure

リレーコラム 第9回

日々の診療で思うこと

関西医科大学香里病院 乳腺外科
兼松 清果

今年の乳癌学会でJ. POSHの「触診ミニモデル」を購入したことがきっかけで、このリレーコラムを書く機会を頂きました。「触診ミニモデル」は、疑似乳房や腫瘍の手触り感を再現することにこだわり、何度も試作を重ねられたとのこと。小さな作りの為、難を言えばやや疑似乳房が硬いのですが、疑似腫瘍の凸凹な手触りは感心する出来栄です。この「触診ミニモデル」や「リーフレット」が沢山の女性の目に入り、自己検診のきっかけになればよいと思います。ちなみに、購入した「触診ミニモデル」は当院の乳腺外科外来にあります。受診患者さんに気軽に触ってもらえるように、設置場所を試案中です。

自己検診によってしこりに気付くといえ、5cmを超えるしこりや、いわゆる「花が開いた」状態（皮膚潰瘍を伴う腫瘍）になってから受診される患者さんがいます。毎年数人必ずいます。ずいぶん前から乳房のしこりに気づきながらも、仕事など忙しくて受診時間が取れなかったり、お金がなくて受診できなかったり、それぞれに理由があって受診が遅くなったそうです。乳がんを放置すれば、腫瘍は大きくなります。腫瘍が大きくなれば、皮膚潰瘍ができます。転移もします。転移した部位によっては、痛みが出現します。痛みだけでなく、麻痺が出る転移部位もあります。ある患者さんは、乳がんの脊椎転移による神経圧迫で歩行困難になってから病院を受診されました。そのような患者さんと会うたびに、しこりに気付いた時に、受診してほしいと思います。

自己発見も大切ですが、そもそも日本は乳がん検診の受診率が低いです。老人保健事業による乳がん検診受診率は、全国平均12～13%。これに、人間ドックなどで個人的に乳がん検診されている人を加えても、欧米のマンモグラフィー検診受診率60～80%には遠くおよばないことでしょう。2009年の日本乳癌学会の報告によると、乳がんの発見契機の60.8%が自己発見ですが、24.4%は症状がない状態での検診です。症状がなくても、検診で見つかることがあります。早期発見の為に、ぜひ乳がん検診へ行ってほしいです。

ところで、「がん検診推進事業」の「無料クーポン券による乳がん検診」の対象が、今年から40歳となりました。日本の

乳がんの罹患のピークは40歳代後半と言われているのに、クーポン券配りが一巡したからと言って、対象を狭めてしまったのは残念でなりません。せめて50歳も加えてほしいと思っていましたら、寝屋川市は予算がついたので、35・45・50歳も追加されました。厳しい予算の中、大変かと思いますが、乳がんの早期発見を増やすために頑張ってください。

早期発見・早期治療の方が、進行してしまってから治療を始めるより、金銭的にも肉体的にも精神的にも楽です。乳がん検診・自己検診をしてほしいですし、乳房のしこりに気付いたら、早く受診してほしいと、日々の診療で思います。



診察室での兼松先生

J.POSH 事務局より

好評な触診ミニモデル

「より多くの皆さんに乳がんのしこりを実感して頂きたい」と、J. POSHが乳腺専門医の監修の下で製作し販売を始めた《乳がん触診ミニモデル》が好評です。前号で紹介してから病院や市役所、保健所など中心にご注文が相次いでいます。このため、急ぎ追加製作することを決めました。お申込みはJ. POSH事務局まで。乳がんの早期発見のために、ミニモデルの感触がお役に立てることを願っています。



専用のケースに入った触診ミニモデルとマンマチェックリーフレット

オ フィンシャルサポーター様のご活動

世界長ユニオン株式会社

<http://www.secaicho-union.jp/>

弊社は、子供靴から紳士革靴まで、多種の靴を製造販売しており、中でもミセスコンフォートシューズ“トパーズ”は柱となるブランドです。常に女性の健康を願い、毎日トパーズで歩き続ける為の商品を提案しております。

今から6年前に、J.POSHさんの活動が耳に入りトパーズで取り組みたいと思いました。弊社大阪事務所が天満橋駅近くにあり、当時J.POSHさんの事務所もすぐそばにありましたので即、直接活動内容を聞きに出かけました。

今まで、乳がんは他人事と思っていましたが、女性にとつてはつらいがんであること、早期発見で治癒可能な事…。まず社内女性全員が健康診断の際に乳がん検診を項目に入れる事にしました。また、弊社は男性が圧倒的に多いのですが身内の女性に検診を呼び掛けてもらいました。

トパーズの靴には、ピンクリボンのタグを付けており、靴箱に入れているアンケート葉書で消費者の方から、ピンクリボン活動にトパーズがお役に立てている事に対して暖かい励

ましの言葉を書いた葉書が寄せられております。自分達は単に売れる靴を作るというのではなく、いろんな方々とつながり少しでも社会に貢献出来る事、その一端にピンクリボン運動があります。7月弊社展示会に、J.POSHさんに作っていただいた触診ミニモデルを会場入り口に設置しご来店のお客様に説明いたしました。自分を含め触診ミニモデルのしごりのリアルさにドキリといたしました。

今後でも乳がんで悲しい女性をひとりでも減らせるよう、微力ではありますがトパーズで応援させていただきます。

企画開発部 近野 静代



展示会入口に掲示された、J.POSHの啓発媒体



株式会社 くわこや
<http://www.kuwakoya.com/>

株式会社くわこやは東海3県(愛知・岐阜・静岡)に15店舗(店名:パルファン 9月12日に16店舗目オープン予定)の化粧品専門店を展開しています。

化粧品を販売していますが、パルファンでは化粧品を通じて女性が身も心も美しくなり、ワクワク・ドキドキした生活できる様、女性のライフスタイルに彩りを与えることを使命としています。

化粧品の販売をするだけでなく、女性のライフスタイルを支援するための社会的責任とは何かを考えた時に、J. POSH様のピンクリボン運動を知り協力させて頂くことになりました。

パルフানেরピンクリボン活動は店頭で寄付を募るのではなく、お客様が商品をご購入されレジを打った分(1回のレジで1円)をJ. POSH様へ寄付させて頂いております。レジ前でPOPを制作しお客様にその内容をご紹介し、お客様自身も商品を購入することでピンクリボン活動に参加し、何かしらの役に立っていることを感じて頂き、それを通じてピンクリボンに対して啓蒙活動をしています。また、弊社スタッフは9割以上が女性です。乳がん

は早期発見することでリスクを抑えることができます。スタッフに対して乳がん検診、子宮頸がん検診の費用を会社が全額負担することでより検診しやすい環境を整えています。また、私の個人的な事ですが、私の家内が昨年、乳がんを患い現在も治療しています。今は乳がんを患うと、どんな生活の変化が起きたのか、早期発見・定期健診の重要性をスタッフに伝えています。

ピンクリボン運動は単発的なことではなく啓蒙活動や運動を継続していかなければいけません。女性のライフスタイルを豊かにするためにパルファンは今後もピンクリボン活動・運動を続けていきます。

総務部長 近藤 博司



レジ前に寄付内容を紹介するPOPを設置

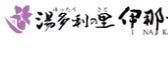
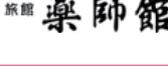
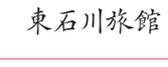
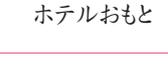
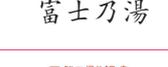
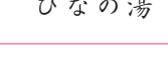
ピンクリボン温泉ネットワーク

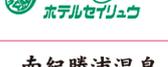
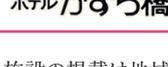
温泉パートナーのご案内

私たち日本人にとって、温泉は心身ともに癒しの場です。多くの乳がん経験者の方々は、乳がんで手術をする前と同じように家族や友人と温泉に入りたいとの想いをもっておられます。しかしながら、手術の傷あとが気になり、温泉に行くことから遠のいてしまっている方が沢山おられるのも事実です。掲載の施設はピンクリボン温泉ネットワークのパートナーとして「乳がんの手術を受けて、温泉には行きづらくなったと感じておられる方々にも温泉を楽しんでいただける」環境作りに取り組んで頂いております。

北海道	旭岳温泉 ラピスタ大雪山	旭岳温泉 ラピスタ大雪山 〒071-1472 北海道上川郡東川町旭岳温泉 電話番号 0166-97-2323
	旭岳温泉 ロッジ・ヌタブカウシベ	旭岳温泉 ロッジ・ヌタブカウシベ 〒071-1472 北海道上川郡東川町勇駒別 電話番号 0166-97-2150
	旭岳温泉 旭岳万世閣ホテルディアパレー	旭岳温泉 旭岳万世閣ホテルディアパレー 〒071-1472 北海道上川郡東川町旭岳温泉 電話番号 0166-97-2331
	旭岳温泉 旭岳万世閣ホテルペアモンテ	旭岳温泉 旭岳万世閣ホテルペアモンテ 〒071-1472 北海道上川郡東川町旭岳温泉 電話番号 0166-97-2321
	旭岳温泉 大雪山白樺荘	旭岳温泉 大雪山白樺荘 〒071-1472 北海道上川郡東川町旭岳温泉 電話番号 0166-97-2246
	旭岳温泉 湯元 湧駒荘	旭岳温泉 湯元 湧駒荘 〒071-1472 北海道上川郡東川町旭岳温泉 電話番号 0166-97-2101
	天人峡温泉 御やどしきしま荘	天人峡温泉 御やどしきしま荘 〒071-1473 北海道上川郡東川町天人峡温泉 電話番号 0166-97-2141
天人峡温泉 天人閣	天人峡温泉 天人閣 〒071-1400 北海道上川郡東川町天人峡温泉 電話番号 0166-97-2111	
岩手県	美白の湯宿 大江本家	温根湯温泉 美白の湯宿 大江本家 〒091-0170 北海道北見市留辺蘂町温根湯温泉466-1 電話番号 0157-45-2711
	志戸平温泉 遊泉 志だて	志戸平温泉 遊泉 志だて 〒025-0244 岩手県花巻市湯口字志戸平11-2 電話番号 0198-25-3939
秋田県	網元の宿 男鹿 薫盛閣	男鹿温泉郷 網元の宿 男鹿萬盛閣 〒010-0687 秋田県男鹿市北浦湯本字草木原63-2 電話番号 0185-33-3161
山形県	展望露天の湯 有馬館	かみのやま温泉 展望露天の湯 有馬館 〒999-3141 山形県上山市新湯6-5 電話番号 023-672-2511
	月山志津温泉 変若水の湯つたや	月山志津温泉 変若水の湯つたや 〒990-0734 山形県西村山郡西川町志津10 電話番号 0237-75-2222
福島県	いろいろの宿 旅籠 芦名	会津東山温泉 いろいろの宿 芦名 〒965-0814 福島県会津若松市東山町湯本下原232-1 電話番号 0242-26-2841
	福島県福島市土湯温泉 自噴泉の宿 ニュー扇屋	福島県福島市土湯温泉 自噴泉の宿 ニュー扇屋 〒960-2157 福島県福島市土湯温泉町下の町18 電話番号 0120-862014

栃木県	塩原温泉 彩つむぎ	塩原温泉 彩つむぎ 〒329-2921 栃木県那須塩原市塩原265 電話番号 0287-31-1150
	塩原温泉郷 湯守 田中屋	塩原温泉郷 湯守 田中屋 〒329-2921 栃木県那須塩原市塩原6 電話番号 0287-32-3232
	塩原温泉 やまの宿 下藤屋	塩原温泉 やまの宿 下藤屋 〒329-2922 栃木県那須塩原市湯本塩原11 電話番号 0287-31-1111
埼玉県	益子館	益子温泉 益子館 里山リゾートホテル 〒321-4217 栃木県芳賀郡益子町大字益子243-3 電話番号 0120-72-7776
	四季の湯温泉 ヘリテージリゾート	四季の湯温泉 ヘリテージリゾート 〒360-0103 埼玉県熊谷市小江川228 電話番号 048-536-1212
長野県	秩父七湯《御代の湯》 新木鉱泉	秩父七湯《御代の湯》 新木鉱泉 〒368-0004 埼玉県秩父市山田1538番地 電話番号 0494-23-2641
	昼神温泉 料理旅館 むらさわ	昼神温泉 料理旅館 むらさわ 〒395-0304 長野県下伊那郡阿智村智里260-1 電話番号 0265-43-3883
長野県	お宿 山翠	昼神温泉 お宿 山翠 〒395-0304 長野県下伊那郡阿智村智里290-1 電話番号 0265-43-2811
	保養センター 尾張あさひ苑	昼神温泉 保養センター尾張あさひ苑 〒395-0304 長野県下伊那郡阿智村智里331-7 電話番号 0265-43-3180
長野県	昼神グランドホテル 天心	昼神温泉 昼神グランドホテル 天心 〒395-0304 長野県下伊那郡阿智村智里331-5 電話番号 0265-43-3434
	癒楽の宿 清風苑	昼神温泉 癒楽の宿 清風苑 〒395-0304 長野県下伊那郡阿智村智里338-19 電話番号 0265-43-4141
長野県	昼神荘	昼神温泉 飯伊森林組合 昼神荘 〒395-0304 長野県下伊那郡阿智村智里338-21 電話番号 0265-43-2336
	ユルイの宿 恵山	昼神温泉 ユルイの宿 恵山 〒395-0304 長野県下伊那郡阿智村智里407 電話番号 0265-43-3188
長野県	日長庵 桂月	昼神温泉 日長庵 桂月 〒395-0304 長野県下伊那郡阿智村智里425 電話番号 0265-43-3500
	万葉茶寮 みさか	昼神温泉 万葉茶寮 みさか 〒395-0304 長野県下伊那郡阿智村智里461 電話番号 0265-43-2656

長野県		昼神温泉 旅の玉手箱 おとぎ亭光風 〒395-0304 長野県下伊那郡阿智村智里490 電話番号 0265-43-3211
		昼神温泉 懐石と伊ばたの宿 吉弥 〒395-0304 長野県下伊那郡阿智村智里503-2 電話番号 0265-43-2000
		昼神温泉 湯多利の里 伊那華 〒395-0304 長野県下伊那郡阿智村智里503-294 電話番号 0265-43-2611
		昼神温泉 ホテルはなや 〒395-0304 長野県下伊那郡阿智村智里530-1 電話番号 0265-43-2700
		昼神温泉 リフレッシュinひるがみの森 〒395-0304 長野県下伊那郡阿智村智里567-10 電話番号 0265-43-4321
		昼神温泉 薬師館 〒395-0304 長野県下伊那郡阿智村智里昼神450-1 電話番号 0265-43-3333
		昼神温泉 阿智村保養センター 鶴巻荘 〒395-0304 長野県下伊那郡阿智村智里332-4 電話番号 0265-43-2320
		浅間温泉 東石川旅館 〒390-0303 長野県松本市浅間温泉1-29-3 電話番号 0263-46-1024
		浅間温泉 菊之湯 〒390-0303 長野県松本市浅間温泉1-29-7 電話番号 0263-46-2300
		浅間温泉 ホテルおもと 〒390-0303 長野県松本市浅間温泉3-13-10 電話番号 0263-46-2385
		浅間温泉 富士乃湯 〒390-0303 長野県松本市浅間温泉3-13-5 電話番号 0263-46-1516
		浅間温泉 ホットプラザ浅間 〒390-0303 長野県松本市浅間温泉3-16-3 電話番号 0263-46-6278
		浅間温泉 ひなの湯 〒390-0303 長野県松本市浅間温泉3-4-13 電話番号 0263-46-1508
		浅間温泉 香蘭荘 〒390-0303 長野県松本市浅間温泉3-4-15 電話番号 0263-46-1014
	浅間温泉 尾上の湯旅館 〒390-0303 長野県松本市浅間温泉3-4-18 電話番号 0263-46-0567	
	ホテルタングラム 〒389-1302 長野県上水内郡信濃町古海 電話番号 026-258-3511	
	ホテル シェラリゾート白馬 〒399-9301 長野県北安曇郡白馬村みずばしょう温泉 電話番号 0261-72-3250	
新潟県		新潟県瀬波温泉 大観荘せなみの湯 〒958-0037 新潟県村上市瀬波温泉2-10-24 電話番号 0254-53-2131

新潟県		ホテル小柳 〒959-1502 新潟県南蒲原郡田上町湯田上温泉 電話番号 0256-57-5000
石川県		片山津温泉 花・彩朝楽 〒922-0412 石川県加賀市片山津温泉堂後1-2 電話番号 0570-550-178
		粟津温泉 あわづグランドホテル 〒923-0326 石川県小松市粟津町ワ-36 電話番号 0761-65-1515
		粟津温泉 あわづグランドホテル別館 〒923-0326 石川県小松市粟津町イ-35 電話番号 0761-65-1234
岐阜県		下呂観光ホテル 本館 〒509-2206 岐阜県下呂市幸田1113 電話番号 0576-25-3161
		下呂観光ホテル しょうげつ 〒509-2206 岐阜県下呂市幸田1113 電話番号 0576-25-7611
		白樺ホテル 〒509-2202 岐阜県下呂市森1089-1 電話番号 0576-25-4411
		下呂温泉 木曾屋 〒509-2202 岐阜県下呂市森971-1 電話番号 0576-25-3230
静岡県		志太温泉 潮生館 〒426-0071 静岡県藤枝市志太600-2-2 電話番号 054-641-2263
三重県		懐古ロマンの宿 季さら 〒517-0021 三重県鳥羽市安楽島町字高山1075-11 電話番号 0599-21-1700
大阪府		天見温泉 南天苑 〒586-0062 大阪府河内長野市天見158 電話番号 0721-68-8081
		犬鳴山温泉 不動口館 〒598-0023 大阪府泉佐野市大木7 電話番号 072-459-7326
		伏尾温泉 不死王閣 〒563-8585 大阪府池田市伏尾町128-1 電話番号 072-751-3540
		東大阪 石切温泉 ホテルセイリュウ 〒579-8012 大阪府東大阪市上石切町1-11-12 電話番号 072-981-5001
和歌山県		南紀勝浦温泉 ホテルなぎさや 〒649-5336 和歌山県東牟婁郡智勝浦町湯川955-1 電話番号 0735-52-0015
岡山県		湯郷温泉 ゆのごう美春閣 〒707-0061 岡山県美作市中山1144 電話番号 0868-72-8111
徳島県		新祖谷温泉 ホテルかざら橋 〒778-0102 徳島県三好市西祖谷山村善徳33-1 電話番号 0883-87-2171

※各施設の掲載は地域順です。
 ※ピンクリボン温泉ネットワークと温泉パートナーについては
 J.POSHのホームページをご覧ください。(http://www.j-posh.com)

個人サポーター様からのお便り

ピンクリボン活動へのおもい

宮地 武司さん(愛知県サポーター)

私がJ. POSHに出会ったのは、2012年です。それまでピンクリボン運動のことは何となく知っていましたが、J. POSHについて調べてみると、乳がんの啓発のみならず患者さん同士のつながりや、家族に対するケアなどが行き届いていてその活動にとても共感できました。

その時、私は乳がんのシンガーソングライター・明日香をサポートしてそのデビュー30周年記念ライブの準備をしているところでした。彼女は、2007年に乳がんの手術を受けました。が自らが患者であることを公表し、自分が元気に歌うことで多くの同じ悩みや苦しみを抱える人々を励ましてきました。2011年には骨転移が起き抗がん剤治療を受けましたが、それでもいつも笑顔で歌い続けてきました。しかし、がんの勢いは止まらず2012年の記念ライブの3か月前に今度は脳転移が起き、ライブの開催さえ危ぶまれるほどでした。私はこの時、「歌うことで人の心の支えになりたい」という彼女の気持ちを多くの人に知ってもらうために、そして同じ乳がんで辛い思いをする人々にピンクリボン運動を紹介することをしようと思い、チーム明日香として登録させていただきました。最後まで心配しましたが、多くの方のお力添えもあっておかげさまでライブは大成功させることができ、ピンクリボン運動にも多くの協賛が得られました。

2013年10月、明日香は天に召されてしまいました。「明日香の生きざま」は多くの人々の心に残りました。誰からも愛された明日香の笑顔は、これからも多くの人を勇気づけてくれると思います。

現在、私の周りにも乳がん患者の方は大勢おられます。ただ、漠然とした情報に不安を抱えているというのが現実です。

ピンクリボン運動が、さらに広がって多くの乳がん患者の方やその御家族の心の支えとなるよう祈っています。私もこれからもこの活動を応援して行きたいと思っています。



シンガーソングライター！明日香さんの著書

メッセージを伝える秘策！

中村 里美さん(東京都サポーター)



2007年、子宮内膜症により私の左卵巣は破裂し、その機能の一つを失いました。そのことをきっかけに、婦人科疾患への定期検診への意識が高まりました。

ピンクリボン運動啓発活動への意欲が芽生えたのもその頃です。

「自分に何かできることはないか」と起こした行動がJ. POSHの個人サポーターに登録することでした。その後、イベントでの啓発グッズの紹介や頒布のお手伝いをするようになる中で、イベント参加者や乳がん体験者、長くボランティアを続けている方々と知り合うようになりました。特に6年前に乳がんを発症し、治療を継続している男性から伺った話は忘れられません。

皆さんもご想像の通り、一般的に男性は定期的に乳がん検診をしません。その為、早期発見が難しいとのこと。乳がんを女性特有の病気と捉えがちが、違和感があっても、「もしかしたら乳がんかも?!」という発想にならず、がんが発見されず月日が経ってしまうケースが多いとのこと。実際、その男性も乳頭からの血性分泌や胸の張りなどの症状を感じ、最初に受診されたのは皮膚科だったそうです。この方のように、「まさか男性が乳がんになるなんて…」と思う人が多いと思います。もしも、そのような症状や胸に違和感があると聞いた時には、「ひょっとしたら…」というアドバイスができるといいかもしれませんね。

私は日頃、感謝の気持ちを伝える時、ちょっとしたギフトとしてピンクリボン運動啓発グッズのハンカチを差し上げています。そのハンカチを使った何気ない瞬間が人々の目に止まり、私の手の離れたところで、ピンクリボン運動のメッセージが込められた啓発グッズが多くの方に広がるツールとなっているからです。

それが私のメッセージを伝える秘策です！

乳がん検診を行動に移すきっかけとして、身近な人に勧められて検診を受けるということが非常に多いと言われています。これからも個人サポーターとして、「乳がん検診を勧める人の存在」という役割を果たしていきます。大切なひとのために…。

「サポーター便り」
をお寄せ下さい

PRN]では「自己紹介」「ピンクリボンとの出会い」等々みなさまのお便りをお待ちしています。お便りとともに、顔写真とお便りの内容に関する写真もお願い申し上げます。送り先は、認定NPO法人J.POSH事務局まで
※誌面の都合上、原稿を編集させて頂く場合がございますので ご了承下さい。

Lady Mammographer / Breast Care Nurse

LMG (Lady Mammographer)

J.POSHではより多くの女性放射線技師(Lady Mammographer:LMG)の方が乳がん領域、特にマンモグラフィー撮影に興味を持っていただき、女性やその家族、友人を乳がんの悲しみから救っていただければと思います、これを支援する女性放射線技師育成支援プログラム(LMGプログラム)を2010年にスタートいたしました。

2014年度も継続プログラムとして「検診マンモグラフィー撮影認定診療放射線技師講習会受講・受験のための参考図書代」補助プログラムを実施しています。

LMGプログラム対象者様からのお便り

筑波大学附属病院 放射線部
西尾 昌子さん

参考図書代の補助をいただき、ありがとうございました。当院ではマンモグラフィーの撮影は、すべて女性技師が担当しています。撮影担当技師全員で情報を共有し、知識と技術の向上を図っています。また、全員が研鑽を積んだのちマンモグラフィー講習会を受講し、認定を受ける流れになっています。このたび補助をいただいたことで、欲しいと思う図書の購入ができることを大変ありがたく思っています。

当院は精査施設のため、検診で精査が必要になった方や他施設より紹介された方、また治療後のフォローアップの方など、様々な目的の方が撮影に来られます。もっと早く見つけて治療を始められていたら、と思わずにおれない方も少なからずいらっしゃいます。何度受けても慣れない検査だとおっしゃる方も多く、できるだけ安心して検査を受けていただけるよう心がけています。また目的によって撮影方法を工夫することもあり、いつどんな方が来られても対応できる技術を求められていると感じています。被験者の方との対話を通じて気になる部分や痛みの程度などを教えていただきながら撮影しています。本当に、日々勉強だと思います。

今後もマンモグラフィーに携わる一人として、勉強を続けていこうと思います。また、多くの方にマンモグラフィーの大切さを知ってもらうため、地域のピンクリボン活動にも積極的に参加していきたいと考えています。

BCN (Breast Care Nurse)

乳腺ケア泉州クリニック 乳がん看護認定看護師
金森 博愛さん

みなさん、こんにちは。乳腺ケア泉州クリニック乳がん看護認定看護師の金森です。今日は、今務めている職場についてお話しします。私は、7月からオープンした乳腺専門のクリニックに務めています。(「だんじり祭」で有名な大阪の岸和田にあります。)スタッフは10名ですが、乳腺疾患の診断・治療・ケアに欠かせない専門家が集まっています。私は毎日この専門家たちの考えや仕事ぶりに刺激を受けています。読影や所見判定の向上に勉める放射線技師・患者さんのために少しでも早く正しい検査結果を出してあげたいと考える細胞検査師・クリニックであっても最高水準のケアや管理を実践する薬剤師・乳がん術後の患者さんの暮らしをサポートする理学療法士など、看護師とは違った見方でそれぞれスタッフが患者さんのことを大切思う気持ちや、その仕事ぶりに「プロだな」と感激しています。チーム医療はこういうことなのかなと実感しています。(もちろん医師も素敵な先生です!)そんな専門家たちに囲まれて私も負けずと頑張っています。安全な化学療法の運営や副作用管理のシステムの構築、術後フォロー中の患者さんのケアをどうしていくか、など課題は山積みですが、『ここで治療してよかったな』と患者さんに思ってもらえるように、クリニックでも・クリニックだからこそ出来るケアを提供していきたいと思えます。

岸和田はもうすぐ「だんじり祭」で、その準備で街が賑わってきています。私たちが「だんじり祭」を楽しみにしています。お祭りの日はなんと休診するくらいです!お祭りのエネルギーと、岸和田泉州地域の人たちのエネルギーを頂いて、クリニックのスタッフ皆とこれからも毎日、楽しく頑張っていきます。



金森さん(左から4人目)とクリニックの皆様

「家族で湯ったり」 キャンペーンについて



益子館 里山リゾートホテル
女将 高橋 美江

乳がん手術痕をお気になさらずに温泉に入浴して頂けるようにとJ. POSHさんの「温泉ウェルカムネットワーク」に登録させて頂きました。

「バスタイムカバー」という手術痕をカバーする入浴着を常備させていただいておりこれまでもお貸出しさせて頂いて参りました。

手術や抗がん剤や放射線治療分子標的治療、ホルモン治療等、長きに渡り数々の不安を乗り越えたご本人の苦悩は、はかり知ることが出来ません。またご家族の皆様が、どれほどまでにご心配を重ねお励ましをされてきたのであろうかと思ひますと、胸がいっぱいになります。

そんな皆様が、少しでも嬉しい気持ちになって頂き、温泉旅館でのんびりゆったりと癒しの時間をお過ごし頂けたらばと思ひ「家族で湯ったりキャンペーン」に喜んで賛同させて頂きました。ご縁とは本当にありがたいものでございます。ご当選のご家族4名様に2014年2月にご来館頂きました。その際に貴重にも乳がん体験の様々なお話をお聞かせ頂く機会に恵まれました。生の声は大変貴重で、乳がんにかからない為に様々な事柄をとて熱心にお聞かせくださいました。今は、ご自分の体験を同じ患者仲間さまに訴えかけ、激励をするという大変力強い活動にも取り組んでいらっしゃるとの事。それはそれは前向きに明るく生き生きとして、今でも彼女の凛としたお姿が大変印象的で鮮明に記憶しています。同じ女性として本当に強くて美しい姿をご家族のみならず、多くの患者仲間さま、そして私共にも見せてくれる彼女の生き方に強く感動を覚えました。

私は何もして差し上げられませんが、そうした患者様のお心に少しなりとも寄り添って宿として出来る限りのサポートを、これからも続けていきたいと心から思いました。最後になりますが、J. POSHさんの活動に心より賛同し、その取り組みをわが社の活動の一つにしっかりと加えてこれからも積極的に参加させて頂きます。

新事務局長からのご挨拶



2014年9月1日より事務局長に就任いたしました十亀(トガメ)晋(ススム)です。前任者から8月に引継ぎを受け、事務局としての仕事の重要性を感じて仕事を始めております。

「ピンクリボンNEWSjapan」の読者に女性の方が多くこともあり、ご挨拶に写真付きは如何なものかと思ひましたが、編集長の「強権発動」で無理矢理の掲載となりました。

なにぶん不慣れなことも多いとは思ひますが、事務局のスタッフと協力し、J. POSHの理念の下、より良いピンクリボン運動の展開に尽力していきたいと考えております。今後はできるかぎり、オフィシャルサポーター様、オフィシャルパートナー様、また、多くの個人サポーターのみなさまにもお会いし、お話をうかがいたいとも考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

PRNj秋号あとがき

【採血でがん発見へ】一。

8月19日付の新聞各紙で大きく報じられた「乳がんなど13種類のがんを1回の採血で発見できる診断システムが近く実現」というビッグニュースに目が釘付けになりました。身体的・経済的な負担の少ない画期的な早期がん発見方法として、朗報であるのは間違いないでしょう。知人の医師にこのニュースについての卒直な感想を聞いてみました。『ニュースだけでは詳細は分からないが早期発見に大きなステップ。ただ、血液検査で乳がんが発見されたとしても、左右どちらの乳房なのか、どの程度のステージレベルなのか、といった詳細までは分からない。がん細胞の場所を特定するには従来通りマンモグラフィーなどの出番は欠かせないのでは』と。J. POSHはこれまで、乳がんの早期発見に自分で行う視・触診の有効性を訴えてきました。今後も《mammacheck習慣運動》を推進して自己触診の大切さをアピールしていく所存です。また、しこりにならない乳がんの発見のためマンモグラフィー検査も必要であることも合わせて啓発していきたいと思ひます。(T・I)